

東松山市立市の川小学校

希少野生生物保護増殖プロジェクト



第5、6学年

特色

県内希少野生動植物種に指定されている「サワトラノオ(サクラソウ科)」を絶滅から守るために、平成30年度から栽培をしている。当番活動としての毎日の水やり、種まき、植え替えなどの世話を通して、「生物多様性」への理解を深めている。令和元年度は、埼玉県こども動物自然公園と連携して、園内に自生する絶滅危惧種「トウキョウサンショウウオ」の育成、放流に取り組むことにより、身近な自然環境への理解を深めた。

児童の感想

わたしたちの活動がこれからも続き、いつかサワトラノオが絶滅危惧種でなくなると嬉しいです。山に帰って行ったトウキョウサンショウウオが、3年後にまた池に戻ってきて、卵をたくさん産んでくれるといいと思います。

成果

埼玉県立川の博物館、埼玉県環境科学国際センター、埼玉県こども動物自然公園、富士自然観察の会などの専門家と連携した保護増殖活動を続けることを通して、児童が生物へ愛着を持ち、環境保護への理解を深めることができた。